

トミー協働 つうしん



第8号

発行:南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)
 企画編集:地域づくり支援員富山担当 (FAX 0470-57-3002)
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)
 メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp

大豆のシロップ煮の缶詰とイノシシ肉の燻製づくりを体験する料理勉強会を開く

～富山地域づくり協議会準備委員会第1回料理勉強会～

作った料理は大豆はシロップ煮の缶詰、イノシシの肉は燻製で、料理経験のある会員が指導者になって楽しい一日を過ごしました。ここで覚えた料理の楽しさを、それぞれの地域の方たちに伝えていくことも地域づくりの一つと考えています。



燻したばかりのイノシシの試食する会員

富山地域づくり協議会準備委員会(前田正昭委員長)では、地元食材を使った料理を覚えて地域づくりに役立てようと、二月十一日に平群にある南房総市農産物加工施設を使い、料理教室を開催しました。今回の食材は大豆とイノシシの肉で、大豆は富楽里で購入。イノシシの肉は箱わな組合の方から提供を受けました。

富山地域づくり協議会(仮称)の名称「らりっ」と「決まる」※詳しくは、3ページに掲載

農家の後継者不足に伴い、荒れた農地を緑豊かな田畑として復活できないものかと考えます。そこで、農家と観光がタイアップし週末貸農園として都会の方に貸出せば、栽培の楽しさ、収穫の喜びにより、人の交流によって地域が明るくなっていくのではないかと考えます。

同時に、高齢化社会において各種ボランティアの方々と連携して、地域で見守るといふ気持ちを行動にしたい、安心して富山に住んでよかったですと思える地域づくりが出来たらよいと思います。



久枝在住 川崎えみ子さん

私の考える地域づくり⑧



①



②

写真①は、段ボールで作った簡易な燻製器です。段ボールを張り合わせ、せんべい缶をかまご代わりにして、こ

地域の話

市老連スポーツ大会のペタンク競技に大接戦

市老人クラブ連合会富山支部(嶋田ヒトヲ支部長)主催のスポーツ大会が三月一日、富山公民館多目的ホールで行なわれました。平成二十二年度は今回で三回目のスポーツ大会です。

当日は雨のため、ペタンクのみ競技になり、十二チーム、四十五名が参加し、会場がいつものグラウンドと違いカーペットのため、球足が速くて皆さん苦労し、大接戦になりました。



成績:優勝 久枝・竹内混合チーム
 二位 二部・検儀谷Bチーム
 三位 竹内老人クラブAチーム
 元気はつらつ賞 尾山初江さん
 夫婦賞 川名勇さん・ことさん



昨年の11月12日に発表部門の皆さんが国保富山病院に慰問したときのフラダンス同好会や日本舞踊・民謡・詩吟の皆さんが、自慢の踊りや声を披露しました。入院されている皆さんは毎年この日をとても楽しみにしていて、笑顔いっぱいの訪問になりました。

南房総市文化協会富山支部(高橋正高支部長) 会員数:273名
 南房総市文化協会富山支部は、文化活動を振興して、市民の文化的涵養と生活文化の向上を図ることを目的に、平成3年5月に発足しました。構成は、踊りや民謡・フラダンス・詩吟・コーラス・カラオケ同好会などの発表部門が15団体。短歌の会や書道・絵画・写真・押花などの展示部門が11団体です。皆さん日頃から活発に活動し、自己研鑽を積んでいます。また、毎年地区の文化祭や国保富山病院への慰問など、多くの会員が参加して、地域に根付いた団体です。

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動をしています。今月は、南房総市文化協会富山支部をご紹介します。

「存じますか、こんな活動」

わがふるさと富山⑧

交通の便がよくなって、日帰りで遠くの桜の名所を訪ねる人も多くなりました。でも、私たちが身近な富山地区にも昔からの桜の名所があるのを存じますか。今月は、富山の桜の名所を紹介します。

まず、小浦の国道127号線沿いに四月上旬に咲くソメイヨシノ並木は、樹高十〜十五メートルの並木が約二十本あり、電車から海を遠景にしての眺めは格別です。そして岩湖周辺の林道沿いに咲く桜並木は、桜が湖面に移り絵を見ているようです。また、平久里中と犬掛の平久里川沿いにはそれぞれ約五〇メートルにわたりソメイヨシノが植えてあり、毎年、川沿いを散歩する人たちの心を和ませてくれます。

富山の桜の名所



25海を遠景に、これ1からメ浦のイ国道3道めめ

読者の投稿コーナー

我が家の自慢のペット、ニホンザルのチャコちゃんを紹介。
 久枝在住 小澤公雄さん



(主人の小澤公雄さんの毛繕いをするニホンザルのチャコちゃん)

チャコちゃんは、7年ぐらい前に、鋸南町の奥山に猟に行ったとき、畏にかかっていた雌のニホンザルです。捕まえた時は二十センチぐらいで小さかったのですが、今は大きくなって、二匹の猟犬と一緒に小澤家のアイドル的存在です。私を親だと思っ

ただいま、熱中しています。
 市部在住 川田正孝さん(71歳)
 今回は、川田久代さんにリレー



口趣味の部屋で熱中する川田さん

私が熱中しているのは仏像彫刻。退職後、現在富山公民館の木工教室を指導されている鋸南町在住の本良樹先生に出会い、スタートしました。額縁、本立、座卓、椅子などを沢山作りました。四年前から、彫刻を始め、魚や動物、伊八の波の模刻を進めてきました。仏像彫刻に進みましたが、難しさを実感している今日です。木工教室の皆さんと同好会を立ち上げ、製作をしています。ずっとずっと続けていきます。

伏姫と八房のたわ言

皆さんから公募した富山地域づくり協議会の名称も「らりっ」と「決まっています。あまり気負わずに、身の丈にあわせて自分たち出来ることから活動しよう、会員の皆さんは静かに闘志を燃やしているようです。

地道な活動が続き、活動が軌道に乗ってくるのは、数年後になると思います。地域の協力を得て、一歩一歩、着実に歩んでいかなければいけないと思います。

数年後の富山地区の姿が楽しみになります。

地域づくり支援員

協議会運営には、しっかりとルールづくりが必要です。ここでは規約の概要を紹介します。

富山地域づくり協議会「ふらっと」規約の概要

目的（第2章）…スローガン

「海や山の豊かな自然を活かし、やすらぎを共感しあえる地域づくり」
みんなが集い、ともに楽しみ、互いに助け合いながら「このまちに住んでよかった」と思える人と人とのつながりを大切にしたい地域づくりをめざす

活動（第2章）…スローガンを達成するための活動

- (1) 訪れる人も住んでいる人も ともに楽しめるまち
- (2) 自分の庭だと思って 愛するまち
- (3) 親から子へ夢をつなげる 地域づくり
- (4) ひとりじゃない 安心して暮らせるまち

活動の実施
地域と連携しながら
みんなと一緒に活動する

総則（第1章）

- ・名称：富山地域づくり協議会「ふらっと」
- ・略称は、「ふらっと」
- ・事務所：南房総市久枝257番地
南房総市役所 富山支所内（富山協働推進室）

役員（第4章）

- ・正会員及び部会代表から
会長、副会長、会計、監事を選出
- ・会長は「ふらっと」を統括

運営委員会（第6章）

- ・各部会から2名ずつの代表と区長会から2名で運営
- ・任期は2年

部会（1）

部会（2）

部会（3）

部会（4）

会員（第3章）

- ・正会員…富山地域に在住又は在勤し、「ふらっと」の運営に参画する個人
- ・協会員…「ふらっと」の趣旨に賛同して、「ふらっと」の活動に参加又は支援する個人・法人・公共的団体

活動のながれ
総会（第5章）
活動計画の作成

部会（第7章）

活動の起案・実施・取りまとめ

運営委員会（第6章）

・部会活動の承認・事業の執行

総会（第5章）

- ・通常総会（年1回開催）
- ・活動計画・収支決算等報告
- ・臨時総会
- ・運営委員会が必要と認めるとき

代表者メンバーによって議件の説明を行なった全体会議。活発な意見が出された。



昨年の十二月七日に富山地域づくり協議会考える会から準備委員会に移行させ、第一回目の代表者会議を開催し、いままです計八回の代表者会議を開催してきました。会議では協議会の目標、名称の

候補、規約、活動計画などの素案を作り、全体会議において審議され決定されました。大目標は、「恵まれた自然環境を活かしたまちづくり」を基本に、「住んでよかった」と「住み続けたい」と「みんなが思える地域づくりをめざすもの」を掲げました。この大目標を受けて、「地域の魅力づくり」「地域の美化」「地域の安全」の四つのキーワードの中、それぞれに活動する目標を決めて、それぞれに活動することになります。

富山地区の長期ビジョン（将来像）として「住んでよかった」と思えるまちづくりを目指して

大目標 海や山の豊かな自然を活かし やすらぎを共感しあえる地域づくり

富山地域に住む私たちは、遠浅で美しい「岩井の海」や富山三山といわれる「富山」「伊予ヶ岳」「御殿山」を擁する海や山の豊かな自然に恵まれています。この恵まれた自然環境を活かしたまちづくりとみんなが集い ともに楽しみ 互いに助け合いながら「このまちに住んで良かった」「住み続けたい」と思える人と人とのつながりを大切にしたい地域づくりをめざすため 本会の大目標を「海や山の豊かな自然を活かし やすらぎを共感しあえる地域づくり」とします

（中目標1）
訪れる人も
住んでいる人も
ともに楽しめるまち

- （具体的な活動例）
- 岩井海岸や道路沿いに草木の植栽
- 地域資源を調べる
- 「ふらっと」の活動を知らせてもらう

（中目標2）
自分の庭だと思って
愛するまち

- （具体的な活動例）
- 親水公園の整備
- 歩けるコースづくり

（中目標3）
親から子へ
夢をつなげる
地域づくり

- （具体的な活動例）
- ・親子間の交流で
- 水車小屋付近でのホテル狩り
- 中学生のプラスバンドとの一緒にイベント
- シジュースを作る

（中目標4）
ひとりじゃない
安心して
暮らせるまち

- （具体的な活動例）
- 避難場所の再確認
- 災害弱者等の安否確認
- ※民生委員・行政区との連携

名付け親は、市部にお住まいの井野由未子さんに！

富山地域づくり協議会名称は「ふらっと」に決定
名称に対する作者の想いは、「富（ふ）山（やま）で 楽（ら）しく 遊ぶ（あそぶ）」を意味する。「ふらっと」で、気軽に参加しやすい雰囲気をつくる。富山で楽しむ人を増やしたい。英語で「調和」「たいら」の意味。

富山地域づくり協議会の名称については、二月一日から三月四日まで富山地区にお住まいの方を対象に募集したところ、六十二人から百二作品の応募がありました。準備委員会代表者会議で厳正に審査をし十作品に絞り、全体会で投票の結果、井野由未子さんの作品「ふらっと」が選ばれました。

- ・皆さんから寄せられた名称は、八犬伝・ふせひめなど里見関係が十六点
- ・山や海・花など自然関係が十八点
- ・水仙の名が入ったものが八点
- ・トミーの名が入ったものが四点
- ・その他のものが五十六点

二回目の投票で「ふらっと」に決定



協議会設立総会を控えて 地元報告会を4月16日（土）に開催

～富山地域づくり協議会準備委員会～

富山地域づくり協議会準備委員会（前田正昭委員長）の全体会議が三月十八日、富山公民館で開催され、代表者会議で協議された協議会の名称や目標、規約、部会の編成、活動等が審議され、決定されました。

今後の日程
地元報告会 四月十六日（土）富山公民館十三時三十分
※地元報告会は、多くの地域の皆さんに協議会の目的・活動等を知っていただくためのものです。
設立総会 四月二十五日（月）を予定